

睦中学校第1回公開研修

25 Apr. 2012
麻布教育研究所 村瀬公胤

今日、学んだこと

- グループはいつ活動するのか、しないのか
についてのすばらしいケーススタディ
- 手助けが邪魔をする、というパラドクス
 - 認知負荷の軽重
 - 文脈が大切;単純なものが易しいとはかぎらない
- 逆に、誘導するデザインもあるかもしれない
 - 文字を使うとぐっと計算が簡単になる必要

さらに考えたいこと

- 話題が広がらない
 - 「補助線を引くこともない」(手も足も出ない)
- 積極的依存と消極的依存
 - 「自信のなさ」をどう捉えるか
 - 私の学びの主人公が私である感覚
- ヒント
 - 子どもたちの見せる様々な顔
 - Step 3がいちばんおもしろいらしい

本時の根源的なすばらしさ

- 数学的活動をしていた
- 数学的活動をたのしんでいた
 - わからない、できないことは、子どもにとっては全く苦痛ではない
- 数学的活動をするためのあらゆる準備をし、手立てを講じていた

全体をふりかえって

- こまやかさ、ゆきとどく、という感覚
- 学びあいの作法に向けて
- ほんもの、であることと、言語活動の連関
- 授業づくりのミニマムからゴールまで